

児童養護施設でのケアが困難な子どもへの 新しい支援の流れ

児童養護施設には、虐待やトラウマの問題などで支援が困難な状況にある子どもたちが少なからず生活している。こうした子どもたちに専門的ケアを提供することを目的に、平成27年10月に開始された「東京都連携型専門ケア機能モデル事業『すてっぷ』」の取り組みが3年目を迎えている。

『すてっぷ』は、生活支援・心理医療・教育を連携一体的に提供する施設で、都内にある児童養護施設から、支援が困難になっている子どもたちを受け入れ、原籍施設への復帰を目指し、生活の場における子どものケアプログラムの実施とともに、原籍施設の担当職員がともにケア技術を学ぶ取り組みを行っている。

今回のセミナーでは、このケアプログラムについて報告するとともに、児童養護施設における支援の難しい子どもたちへのケア方法について考えてみたい。

【日 時】 2018年6月27日(水) 10:00 ~ 16:30

【会 場】 国立オリンピック記念青少年総合センター

○ アクセス：小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩7分 ほか

○ 住所：東京都渋谷区代々木神園町3-1 (<http://nyc.niye.go.jp/index.html>)

【対 象】 児童養護施設・乳児院・児童相談所・子ども家庭支援センターおよび関係職の方

【定 員】 160名(定員になり次第〆切)

【受講料】 7,000円(CCAP賛助会員の方は6,000円)

時 間	内 容	講 師 (敬称略)
9:30~	受付開始	
10:00 ~12:00	新しいケア施設の取り組み：東京都連携型専門 ケア機能モデル事業「すてっぷ」の試み 児童養護施設在籍中の小学生年齢の児童で、虐待 に起因する愛着障害や発達の偏りにより様々な問 題行動を起こす等、重篤な症状を持つ児童の早期 改善を図るためのケア施設の特色と効果について	高橋 貢一 (東京都福祉保健局少子社会対策部 育成支援課課長代理) 財前 仁 (東京都石神井学園連携担当 グループリーダー) 畷本 美香 (練馬区立上石神井北小学校 石神井学園内特別支援学級 副校長)
昼 食 休 憩		
13:30 ~16:30	1. 『すてっぷ』のケア内容 2. 原籍施設からの現状報告(事例) 3. 報告者間のディスカッション 4. 質疑	山田 大貴 (東京都石神井学園「すてっぷ」心理職) 藤岡 孝雄 (東京都石神井学園「すてっぷ」ケア-カ-) ほか、原籍施設より報告を予定 *コーディネーター 加藤 吉和 (CCAP 評議員、臨床心理士)

【申込方法】 ※入金後の返金はできませんので、ご注意下さい。

参加申込書(裏面)にご記入の上、FAXにて子どもの虐待防止センター事務局までお申し込み下さい。

折り返し受講番号と振込口座をFAX連絡いたします。受講番号確認後受講料をお振り込み下さい。

【 申込書送付先 】

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター事務局 FAX 03-5300-2452

TEL 03-5300-2451

開催日：2018年6月27日（水）

WEB

【第47回 子どもの虐待防止セミナー 参加申し込み書】

■ 名前（ふりがな）

■ CCAP 賛助会員*（いずれかに○）

- (1) 会員である
- (2) 会員ではない
- (3) 入会を申し込む

■ 受講票送付先 FAX （ 自宅 ・ 勤務先 … いずれかに○ ）

*受講票の返信をFAXにて行いますので、必ずFAX番号をご明記下さい

■ 勤務先名称

*所属機関と所属部署名までご記入下さい

■ TEL（自宅 ・ 勤務先 … いずれかに○）

*日中のご連絡が可能な番号をお知らせ下さい

■ 職 種

（里親・養親の方はその旨お書き下さい）

■ 住所（自宅 ・ 勤務先 … いずれかに○）

〒

■ 公費による受講料振込の方は

振込人名をお書き下さい

【ご質問】 *テーマに関連して、質問などございましたらご記入ください

*このたびのセミナーと同時に CCAP 賛助会員にお申し込み頂きますと、会員料金でご参加いただけます。
入会ご希望の方は事務局までご連絡下さい。年会費は一口 5,000 円（4 月～翌 3 月の年度制）です。